

2024 | 学校案内

Open the door to the future

未来の扉を開く



学校法人 滝学園 滝高等学校



TAKI

SENIOR
HIGH
SCHOOL



本館

未来の 扉を開く

Open the door to the future



創立者 滝信四郎先生の像



講堂



図書館

受け継がれた 建学の精神を 新しい未来の礎に

滝学園は、明治から昭和にかけて実業家として成功を収めた滝信四郎が、「自分を育ててくれた故郷から将来大いに活躍するであろう青少年を育てることこそ最大の恩返しである」と考え、「質実剛健」「勤勉力行」「報恩感謝」を建学の精神として設立しました。創立者のこの精神を私達は以下の教育理念と教育目標に発展継承しています。

質実剛健

「実」のある豊かな人生を結実させるためには、人格的にも知的にも中身の充実した質の高い人間性が求められる。そのためには、強く柔軟な精神力と、健康で健全な身体が必要である。

勤勉力行

高い理想に向かって、強い意志を固め、ひたむきにかつ貪欲に努力を続ける行動力のある人間が求められる。

報恩感謝

社会の発展が個人の幸福を保障し、個人の向上が社会の発展に貢献する。人間と人間とのつながりを大切にし、人々のために努力する感性豊かな人間が求められる。

滝学園の歴史

- 1926 大正15年 滝実業学校(農・商)を創設する。
- 1947 昭和22年 滝中学校(男女共学)を併設する。
- 1948 昭和23年 学制改革により、滝実業高等学校(農・商)となる。
- 1949 昭和24年 高等学校に普通科を増設し、男女共学校となる。
- 1964 昭和39年 校名を変更し、滝高等学校となる。
- 1967 昭和42年 畜産園芸科(農業科)募集停止。
- 1998 平成10年 商業科募集停止。
- 2000 平成12年 滝中学校と滝高等学校普通科の6年一貫校となる。

本館、講堂、図書館の3つの建物は国の登録有形文化財に認定されています。

校長あいさつ

私達の使命(ミッション)は、学園に集うすべての生徒の夢実現に貢献することです。そのために、

- 愛情をもって最高水準の教育を行います。
- 生徒のためにすべてを優先して行うことを大切にします。
- 学園の教職員全体の間をつなぐ信頼と尊敬を構築します。また、私達が尊ぶ精神は、固定概念にとらわれない進取の精神です。
- 私達はこれらを教育の指針として、滝学園に入学する生徒一人ひとりに入学前に期待した教育価値(進学・教養・スポーツ)に応えられ、入学後には願望価値(「この大学に入学できたらいいな」という新しい目標)を生み出す手助けができ、卒業後には予想外価値(自分が予想もしなかった喜びや感動を得る)や進学実績を付与できることを目指しています。



滝高等学校
校長 戸田 誠



私たちは、
生徒一人ひとりと真摯に向き合い、
総合力に秀で、多様性に対する
寛容な姿勢を身につけた
魅力ある生徒の育成を目指します。

- 1 | 「知力」「体力」「教養」のバランスのとれた生徒の育成を目指す。
- 2 | それぞれの夢の実現にふさわしい志望大学に合格するだけでなく、その先に生きる確かな学力を身につけた生徒の育成を目指す。
- 3 | 自己の社会的責任を自覚し、周囲に対する優しさを持って、それぞれが歩むネットワークの中で、かけがえのない役割を果たす生徒の育成を目指す。

深める教育

昨今、教育界にも教育のICT化をはじめ大きな変化が起きています。
その柱は「新しい学力観」と「グローバル人材の育成」です。この2本の柱は、いずれも確かな「基礎学力」に裏打ちされた「専門」の力と深い「教養」を必要としています。私たちはその2本の柱を意識しつつ、日々の授業・学校行事を展開していきます。

広げる教育

私たちは、10数年前からT型人間、つまり「一」がジェネラリスト、「I」がスペシャリストの2つの力をもつ生徒の育成に努めてきました。現在では、「I」を2本に増やした元型人間、つまりスペシャリストとしてグローバル・マインドとローカル・マインドを備えた人材の育成を目指しています。

これからは、さらに「一」を2本に増やした“元”型人間、つまり確かな学力を持った、“元氣”な生徒の育成を目指していきます。

支える教育

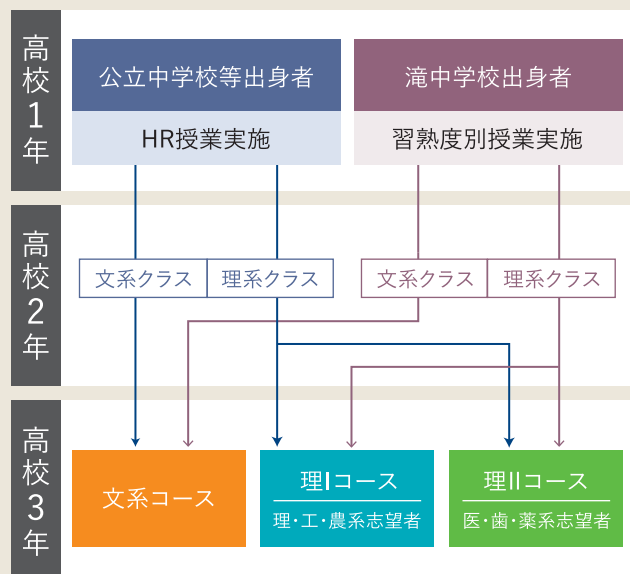
人間は不完全であり、弱い存在です。まして中高生はなおさらです。つまりいたり、悩んだりしたときこそ友人や教師がそばに立ち、自らの“不完全”さを自覚する力に目覚め、そこから新たにスタートできる体制[教育相談、進路相談、面談週間]を整えています。

凝縮された学びの3年間

滝高校では、大学進学に必要な高い学力と広い視野を持つ生徒の育成に努めています。
滝高校は、滝中学校からの進学者と公立中学校などからの進学者からなっています。
それぞれの特性を生かした指導を行うため、1・2年生をそれぞれ別クラスで編成し、
3年生から合流するという形態をとっています。

	目標	学習進度	クラス編成
高校1年	基礎学力を固め、 応用力の養成を目指す。 進度は2年間で 滝中学校出身者と合わせる。	英語・数学・国語については、 2年生までに教科書 レベルの内容を固め、 標準的な問題への対応を 完成させる。	HR、授業ともに 均等クラスを編成する。
高校2年			文系・理系に分かれ、 それぞれでHRを編成。 授業は原則としてHRで行う。
高校3年	大学入試に向けて 実践力を養う。	大学入試問題の演習を 中心に実践力を高め、 志望校別の具体的指導を行う。	文系・理I・理IIの3コースに 分かれ、それぞれでHRを編成。 授業は習熟度別クラスと 選択クラスで行う。

出身別学習進度調整



滝中学校において学習内容の前倒しを行っているため、滝中学校出身者と公立中学校等の出身者の間で、進度の調整が必要になります。そのため1・2年生では出身別のクラス編成とし、この2年間で進度を合わせます。

特別授業については、1年生では夏期10日間、冬期5日間、教科書を進める授業を行います。年間9～10回程度の土曜講座開講日には60分・3時間の特別授業を行っています。2年生からは、特別授業の期間・内容や土曜講座への参加はすべてのクラスで同じになります。



学習指導

50分授業・週33時間[週5日制]の通常授業に加えて特別復習授業を行うことで十分な授業時間を確保しています。
こうした授業時間と質の高い教材を利用することで難関大学・学部の入試に対応できる学力を養成します。

特別復習授業

- 長期休暇中に行われる授業で、各学年、次の期間で実施しています。
 - 1年生/夏期10日間、冬期5日間
滝中学校出身の生徒と進度を合わせる内容
 - 2年生/夏期10日間、冬期5日間
 - 3年生/夏期10日間、冬期5日間
 - 1・2年生 復習・演習中心の内容
 - 3年生 入試問題の演習中心の内容

オープン講座

通常の授業後や、長期休暇中に滝教育研究所または校内で、希望制で行います。
内容は、特定の分野を深く掘り下げたものや、大学・学部別の傾向に合わせたものなどで、独自教材を作成したりして質の高い授業を展開しています。

《オープン講座の例》

- ◎長文読解
- ◎整数問題集中講義
- ◎受験数学IAIIB実践演習
- ◎数III総合演習
- ◎国公立二次現代文
- ◎骨太に読み解くマーク問題(古文)
- ◎東大・京大物理
- ◎ゆうきかがく3 構造決定特訓
- ◎新テストのための日本史総まとめ(古代・中世編)
- ◎系統地理の復習

土曜講座

特定の土曜日に希望制で行われる土曜講座を開講しています。「学習講座」と「教養講座」からなり、「深く」「広く」学ぶ機会を提供しています。

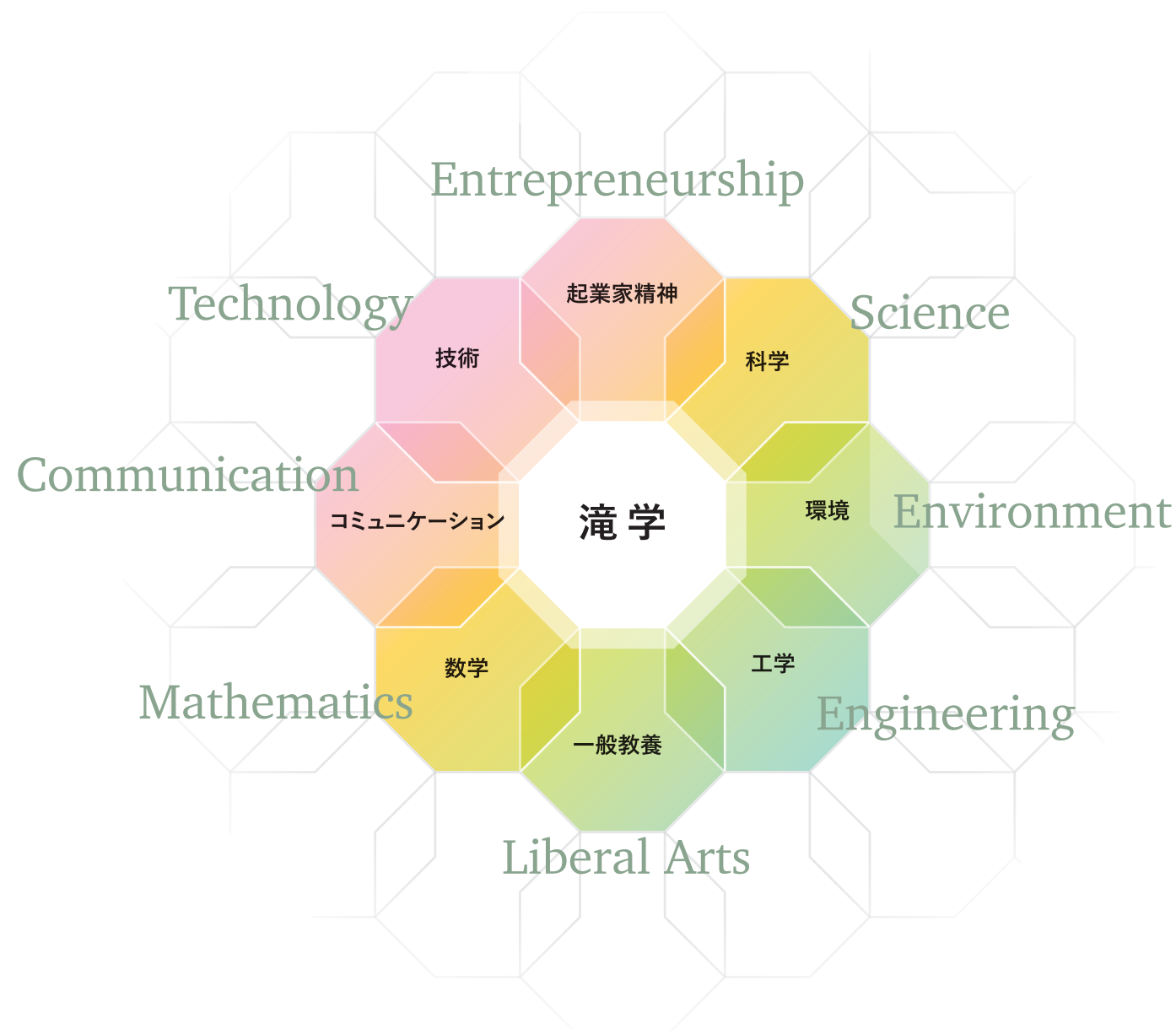
《土曜講座の例》

- [学習講座]
 - ◎基礎からの英文法講義
 - ◎入試数学に触れてみよう
 - ◎文語文法の特訓
 - ◎フォローアップ物理
 - ◎今年のセンター試験を解く(政治経済)
- [教養講座]
 - ◎進路をデザインする!
 - ◎大学式プレゼンが巧くなる極意
 - ◎認知症になぜ国家戦略なのか
 - ◎再生医療の最前線
 - ◎エネルギーの現状とこれからの暮らし
 - ◎やる気を起こすメンタルトレーニング



生徒参加型の授業「滝学」

生徒自らが考え、発信することに重点を置いたアクティブラーニング授業では、科学技術関連の教科から環境教育、建学の精神などさまざまな分野から独自のテーマを設定します。創立100周年を間近に控えた滝学園の新たな取り組みです。



「滝学」は、科学、技術、工学と数学等の教科の横断的教育(一般的にSTEM教育と呼ばれる)に加え、自分の考えを言語化する経験を与えること、起業家・実業家精神を養うこと、環境意識を高めることも目指します。生徒が自ら考え、意見をつくり、発信していくことに重点を置いた、生徒中心の参加型の形式で行います。学年や時期にふさわしい課題を扱い、適宜、学園にかかわる内容も題材としながら、滝に学ぶ生徒として大切にしてほしい心構えや将来に役立つ力を身につけてもらうことを目指します。

創立100周年を間近に控え、創立者滝信四郎先生の思いや、滝富夫理事長の考えや姿勢について具体的に学ぶことを手始めとし、学年に応じて、課

題発見力、考察力、表現力等を磨きながら、自己発見や自己肯定感の醸成につなげ、未来を生きる糧を与えるため、改めてまとめたものが「滝学」です。



21世紀に求められる 力の獲得に向けた学び

新しい大学入試に向けては、文部科学省から次ページのI・II・IIIの観点が見られました。
この観点に基づいた教育が求められるとともに、「大学入学共通テスト」が実施されています。
滝学園では、こうした新しい動きに対する施策に、積極的に取り組んでいます。



新しい観点

I

基礎的な知識および技能を獲得させること。

滝学園の取り組み

今までの滝学園の経験を発展させ、すべての生徒に「基礎学力の今まで以上の定着」を目指します。「鍛える教育」
英語4技能対策として、GTECや英検などの外部検定試験を積極的に利用します。



新しい観点

II

これからの時代に社会で生きていくために必要な「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育成すること。

滝学園の取り組み

「土曜講座」というフィールドを十分に活用して教養に裏付けられた専門性を深めていきます。「深める教育」

土曜講座記念講演会の主な講師

アメリカ マサチューセッツ工科大学 教授
[1990年 ノーベル物理学賞受賞]
ジェローム・I・フリードマン氏

名古屋大学 教授
[2014年 ノーベル物理学賞受賞]
天野 浩氏



新しい観点

III

「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育成すること。

滝学園の取り組み

クラブ活動の質の向上と各種大会への挑戦を通じて、アカデミックスキルを体得するよう努めます。



Student Diversity

多様な人材

滝高校の入学試験は、一般入試に加えて、帰国生入試、地域枠推薦入試の3種類があります。
滝中学校からの内部進学者と併せ、多様な中学校生活を送った生徒たちが集まることで、
互いに刺激し合いながら充実した高校生活を過ごします。

滝高校は、勉学だけでなく、クラブ活動や社会貢献活動、海外生活など、さまざまな才能、資質、経験を持つ多様な人材が集います。また、名古屋市をはじめ、愛知県・岐阜県の幅広い地域から生徒が通っており、日々の生活の中で互いに切磋琢磨し、国際感覚を養い、広い視野を身につけながら成長することができます。互いの個性を認め合い、支え合い、共に目標の実現を目指す仲間と過ごす時間は、卒業後の人生の大きな財産となることでしょう。

グローバル人材の育成

私たちが今日置かれている社会は「グローバル社会」というよりも「ボーダレス社会」と考えられ、日本のどこにいても海外の人との交流を求められます。この「ボーダレス社会」を生き抜く覚悟と力を育成したいと考えています。「ボーダレス社会」に対応できる人材育成の場は身近にも多くありますが、より海外の人々と触れ合う機会を求め本校独自のプログラムを提供します。



「教育のグローバル化・ボーダレス化」と「海外研修」

社会の「グローバル化」にともない、教育の世界でも「グローバル人材の育成」ということがさかんに言われています。「グローバル人材」とは、単に「英語が話せる」「海外生活の経験がある」といった人材を意味しません。滝学園は次に示した力を備えた人をグローバル人材と位置づけ、「新しい学力観」に基づいた教育により「グローバル人材の育成」を図ります。

グローバル人材

未知の分野・世界に好奇心を持って
飛び込んでいける勇気と行動力を持っている人。

困難に直面してもあきらめず
最後まで課題解決のために努力を続けることができる
タフネスを持っている人。

他者との協働のために、自身の考えを述べ、
相手の考えに心を開くことができる人。
そのための言語力(日本語・英語)を持っている人。

海外研修

※訪問地、人数などは変更されることがあります。

アメリカ研修(高1)

世界の一流を見ることで刺激を受け、将来に対するグローバルな視点を持つきっかけにもらえるよう実施しています。ハーバード大学やMITの見学に始まり、講義や、現地で実際に学ぶ学生からの話を聞くことは、将来を考える上で役立つことと思います。

グローバル社会で活躍するために必要と考えられている考え方や技術を身につけられるような英語研修も含んでいます。

●高1:夏休み中、原則10日間、希望者から最大40名、自己負担

イギリス研修(高2)

日本各地から高校生がロンドンに集まり、現地生徒・学生との意見交換を中心とした交流を行います。University College Londonの教授陣による講義、世界で活躍する日本人(本学園卒業生も含む)との対話イベント、ロンドン市内研修など有意義なイベントで盛りだくさんです。

新たな視点で日本や自分自身を見直すことも期待されます。本学園の卒業生の方々から、資金面、精神面のサポートをうけて参加できる点も素晴らしいことです。

●高2:夏休み中、原則10日間、高2生希望者から5名を選抜、自己負担金10万円の他は卒業生・同窓会から補助を受け、UCL-Japan Youth Challengeに参加



コロンビア大学



ハーバード大学



台湾修学旅行(高2)

台北を中心に国立故宮博物院、忠烈祠、龍山寺そして映画「千と千尋の神隠し」のモデル地といわれている九份などを訪ねます。また、国立台湾大学のキャンパスツアー、台湾の大学生と一緒に班別研修をするB&S(Brother & Sister)プログラム、現地の高校との学校交流など、台湾の大学生・高校生とのコミュニケーションを通して台湾の生活や文化を学びます。

●高2:12月、3泊4日



クラブ活動の海外交流

これまでの実績

- 柔道部/ハワイ(2023年3月 訪問)
- カンボジア(2022年3月 Web交流)
- 先進技術研究部/ハワイ(2018年3月 訪問)
- サッカー部/イギリス(2018年3月、2019年3月 訪問)



希望実現の確かなサポート

滝高校では、生徒の志望を第一に考えた進路決定を多角的にサポート。
 学年・担任・進路指導部を中心に、
 保護者の皆様との連携のもと、文系・理系の選択から学部・学科の選択、
 さらに志望大学の選定までの指導を行います。
 その結果、生徒の多くが東京大学・京都大学、国公立大学の医学部医学科、
 さらに地元の名古屋大学など難関とされる大学・学部への進学を目指しています。

模試の分析と面談

本校では、3年間に多くの模擬試験を受けます。模試を受ける目的は、その時点で自分の学力を全国の高校生との比較で知ること、自分の弱点科目・教科・分野を知りそれを強化していくことにあります。

本校では、模試受験後の指導として、その結果や指導方針などを学年・進路学習指導部で分析・検討し、生徒との面談を行います。

個別の大学情報

少子化の問題や大学のグローバル化などの影響を受け、大学入試にも大きな変化が起きようとしています。

本校では、こうした状況に対応できるように的確な情報収集を心がけています。得られた情報は適切な時期に、適切な方法で生徒や保護者の皆様にお伝えします。

講演会

本校では、土曜講座記念講演会をはじめ進路指導部が企画する進路講演会などに、大学の先生や実業界で活躍されている方など多くの著名な方をお招きしています。

これらの講演会は、生徒自身が各自の興味関心の枠を広げ、「学び方・将来の生き方」を考えることを通じて進路決定につながるものと位置付けています。

進学実績

国公立大学の入試結果（現役生のみ）

		R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試
国公立大学	医学部医学科 合格者数	15	21	30	35
	合格者数	146	162	136	173

令和5年度入試 主な大学の合格者数

国公立大学				私立大学(現役+既卒)	
大学名	計	現役	既卒	大学名	計
北海道	11	7	4	青山学院	11
東京	8	7	1	慶應義塾	28
東京工業	3	3	0	国際基督教	2
横浜国立	3	3	0	上智	22
岐阜	30	24	6	中央	25
名古屋	43	33	10	東京理科	47
名古屋工業	18	15	3	法政	28
三重	6	5	1	明治	33
京都	12	8	4	立教	5
大阪	3	2	1	早稲田	22
神戸	7	6	1	愛知医科	23
九州	2	2	0	南山	36
国際教養	2	2	0	藤田医科	32
名古屋市立	25	18	7	同志社	72
その他	56	38	18	立命館	81
合計	229	173	56	関西学院	18
				その他	283
				合計	768

令和5年度入試 国公立大学 医学部医学科・歯学部・薬学部の合格者数

学部・学科	計	現役	既卒
医学部医学科	52	35	17
歯学部	7	4	3
薬学部	12	9	3

令和2年度～令和4年度入試 主な大学の合格者数(現役+既卒)

国公立大学				私立大学			
大学名	R2年度	R3年度	R4年度	大学名	R2年度	R3年度	R4年度
北海道	10	9	8	慶應義塾	22	16	36
東北	1	0	0	上智	4	13	19
東京	6	5	5	中央	19	17	28
東京工業	1	0	1	東京理科	35	39	60
一橋	1	2	1	明治	34	21	28
岐阜	34	24	21	早稲田	48	21	40
名古屋	25	39	34	愛知医科	25	30	37
名古屋工業	12	12	18	藤田医科	28	38	32
京都	17	10	12	南山	67	50	59
大阪	8	8	8	同志社	54	60	69
神戸	4	4	5	立命館	131	76	139
九州	0	0	3	関西学院	10	12	9
名古屋市立	28	14	22	その他	415	327	348
その他	70	93	70	合計	892	720	904
合計	217	220	208				

進路講演会 講師 [令和4年度]

高等学校では、進路決定や教養を高めるための進路講演会を定期的に開いています。

- 永野 拓矢 氏 名古屋大学 准教授
- 高木 繁 氏 名古屋工業大学 参事
- 野崎 光寿 氏 文部科学省
- 羽地 俊樹 氏 産業技術総合研究所 研究員
- 三鴨 廣繁 氏 愛知医科大学 主任教授

未来の扉を開く鍵

滝学園では、通常は授業の行われない土曜日を有効に活用し、生徒の皆さんの知的好奇心や教養を高めるとともに、普段の授業のバックアップや応用力の育成を目指して、土曜講座を実施しています。

土曜講座記念講演会の講師

新入生、在校生、保護者の方々に土曜講座をよく知っていただく機会となるよう、毎年4月に記念講演会を開催しています。講師にはノーベル賞受賞者をはじめ、各界で活躍されている著名人をお迎えします。

過去「土曜講座記念講演会」の講師

ジェローム・フリードマン 氏	マサチューセッツ工科大学 (1990年ノーベル物理学賞受賞)	渡辺 興亜 氏	第29次、35次南極地域観測隊隊長
宮川 繁 氏	マサチューセッツ工科大学	斎藤 孝 氏	明治大学教授
梅原 猛 氏	哲学者	池田 清彦 氏	早稲田大学教授
李 遠哲 氏	元台湾中央研究院院長 (1986年ノーベル化学賞受賞)	森永 卓郎 氏	獨協大学教授
C.W. ニコル 氏	作家	小柴 昌俊 氏	東京大学特別栄誉教授 (2002年ノーベル物理学賞受賞)
鎌田 實 氏	諏訪中央病院名誉院長	養老 孟司 氏	東京大学名誉教授
池田 香代子 氏	翻訳家	丹羽 宇一郎 氏	日中友好協会会長・ グローバルビジネス学会会長
秋山 仁 氏	数学者	天野 浩 氏	名古屋大学教授 (2014年ノーベル物理学賞受賞)
大谷 貴子 氏	全国骨髄バンク推進連絡協議会会長	前刀 禎明 氏	株式会社リアルディア代表取締役社長 (滝高等学校第26回卒業生)
森島 邦博 氏	名古屋大学大学院理学研究科 准教授(素粒子物理学) (滝高等学校第47回卒業生)	岸 博幸 氏	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
渡辺 安虎 氏	東京大学大学院経済学研究科教授 (滝高等学校第42回卒業生)		



学習講座

「グローバル社会」で活躍するためには、その前提として基礎となる確かな学力を身につけておく必要があります。普段の授業をしっかりと理解して、学力を高めてもらうことがまず第一に大切なことです。土曜講座では、各生徒の弱点を補うための基礎レベルの講座や、プラスαの高度な内容を探求するハイレベルな講座などが開講されます。「学習講座」を通じて、基礎力や応用力を高めたり、大学入試への対策を行うことができます。

英語講座

「名大英語を研究しよう」



数学講座

「東大理類合格者がいつかどこかで学ぶ数学で使う考え方」



国語講座

「古典文法弱点撲滅講座」



教養講座

将来、社会のリーダーとして活躍するにあたり、自分が就いている仕事の分野に関する知識・専門性が求められるのは当然ですが、幅広い教養も必要とされます。幅広い教養は、世の中の動きを理解し、新たな発想を生み出し、的確な判断をするのに役立つだけでなく、人間的な魅力にも繋がります。「教養講座」で様々な世界に触れ、普段の授業だけでは得がたい経験を積んでもらいたいと考えています。本校教職員以外にも、大学の先生や様々な職業の方、卒業生を招いて開講しています。時には、在校生が講師になって講座を開くこともあります。

「難病の新しい薬開発を目指して～薬学部教授の挑戦～」



「宇宙ロケットのお話」



「税理士と考える皆さんの未来～日本の財政と年金の視点から～」



「いまを生きるための力を養う」



「誰でも参加できる和太鼓講座」



「日常に役立つ心理学」



「進路選択に海外は？」



「哲学対話(P for C)をやってみよう!」



「弁護士&裁判官のお仕事」



「囲碁講座」



「1 DAY フローリスト講座」



「燃えろ受験生!バレーボール編」





School Life

共に学び、ふれあう日々

体育祭・文化祭・修学旅行といった学校行事を抜きにして高校生活を語ることはできません。
 生徒会が中心となって、全力をあげて準備に取り組む「長月祭」は、
 体育祭・文化祭を合わせた本校の一大イベントです。



年間行事

滝学園の教育の柱の一つである集団活動。
 1年を通して繰り返られる学校行事やクラブ活動をはじめ、
 学校生活のさまざまな場面で
 人間関係の大切さを実感できる機会を提供し続けます。



4 <i>April</i>	5 <i>May</i>	6 <i>June</i>	7 <i>July</i>	8 <i>August</i>	9 <i>September</i>	10 <i>October</i>	11 <i>November</i>	12 <i>December</i>	1 <i>January</i>	2 <i>February</i>	3 <i>March</i>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 入学式 ■ 宿題テスト ■ 新入生オリエンテーション ■ 遠足 ■ クラブ登録 ■ 生徒会選挙 ■ 憲法講話(1年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1回定期考査 ■ 球技大会 ■ 避難訓練 ■ 志望理由書添削(3年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コース別講演会(2年生) ■ 文理説明会(1年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2回定期考査 ■ 進学説明会(3年生) ■ 高2イギリス研修(希望者から選抜) ■ 前期夏季特別復習授業 ■ 高3夏期大学入試攻略授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高1アメリカ研修(希望者) ■ PTA主催大学進学懇談会 ■ 後期夏季特別復習授業 ■ 高3夏期大学入試攻略授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宿題テスト(1・2年生) ■ 実力テスト(3年生) ■ 長月祭(文化祭・体育祭) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒会選挙 ■ 第3回定期考査 ■ 進学説明会(2年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 進路講演会(1年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第4回定期考査 ■ 進路志望大学面談(3年生) ■ 高2修学旅行(台湾) ■ キャリアデザイン添削(1年生) ■ 志望理由書添削(2年生) ■ 冬季特別復習授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校内実力テスト(1・2年生) ■ 進学説明会(2年生) ■ 大学出願前個人懇談会(3年生) ■ 高3冬期大学入試攻略授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 球技大会 ■ 高3冬期大学入試攻略授業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業式 ■ 第5回定期考査 ■ 卒業生による合格報告会(2年生)





陸上部(男・女)

バレーボール部(男子)

バレーボール部(女子)

バスケットボール部(男子)

バスケットボール部(女子)

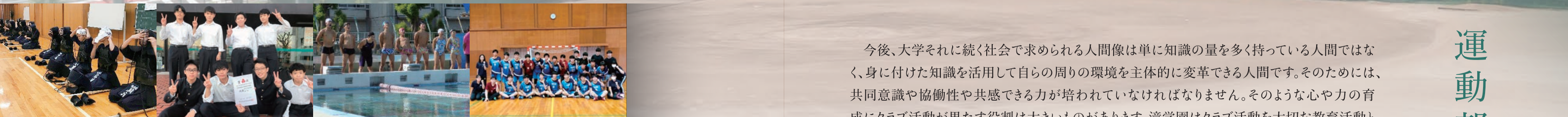
ソフトテニス部(男子)

ソフトテニス部(女子)

サッカー部(男子)

硬式野球部(男子)

柔道部(男・女)



剣道部(男・女)

卓球部(男子)

水泳部(男・女)

ハンドボール部(男子)

運動部

今後、大学それに続く社会で求められる人間像は単に知識の量を多く持っている人間ではなく、身に付けた知識を活用して自らの周りの環境を主体的に変革できる人間です。そのためには、共同意識や協働性や共感できる力が培われていなければなりません。そのような心や力の育成にクラブ活動が果たす役割は大きいものがあります。滝学園はクラブ活動を大切な教育活動と考えます。

ただ、従来やもすると「勝利主義」になり、生徒の生活のほとんどがクラブ活動に費やされてしまうというケースもありました。私たちは、学習活動や学校行事やクラブ活動が一人の生徒の中に共存でき、その共存の割合は生徒自らが決定できることが望ましいと考えています。そのため、下校時間は年間を通じて午後5時30分としました。また、学校休業日などの活動は年間最大60日までとしました。

Club Activities

クラブ活動

こころの力を育む時間

文化部

クラブ活動を通じた海外交流 (過去の実績)



先進技術研究部/ハワイ(2018年3月)



サッカー部/イギリス(2019年3月)



柔道部/ハワイ(2023年3月)



ブラスバンド部

合唱部

ギター部

演劇部

美術部

先進技術研究部

自然科学部

天体観測部

英会話部

料理研究部



写真部

茶道部

文芸部

囲碁部

数理研究部

ビジネス部

競技かるた部

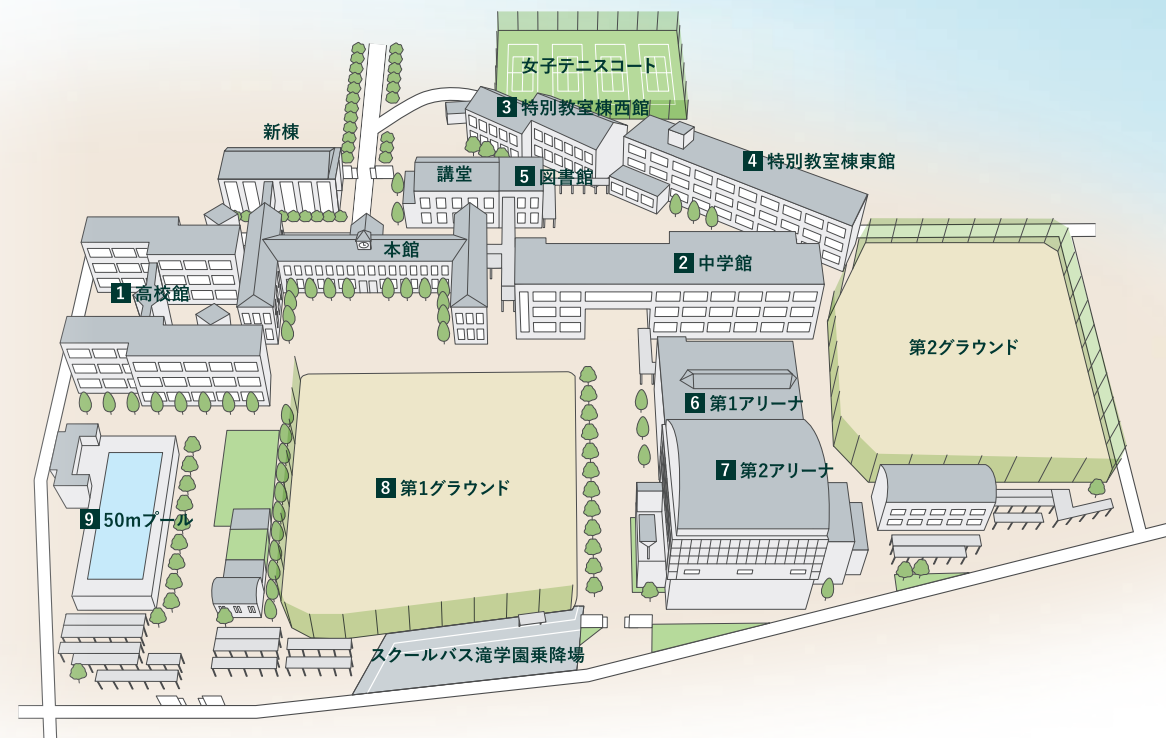
将棋部

ダンス部

クイズ同好会

充実した学校生活のために

本校は、78,000㎡(ナゴヤドームのグラウンド面積の約6倍)の
 広大なキャンパスに充実した学習・運動施設が配置されており、
 豊かで伸びやかな学校生活を過ごせます。
 それぞれの校舎は大樹に囲まれ、冷暖房を完備しており、静かな環境の中で
 落ち着いた授業が繰り広げられています。



1 高校館



2 中学館



6 第1アリーナ



3 特別教室棟西館



7 第2アリーナ



4 特別教室棟東館



8 第1グラウンド



5 図書館

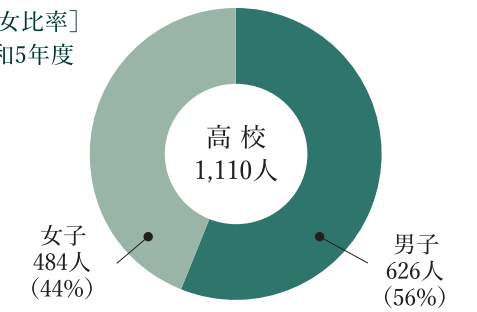


9 50mプール

男女共学

[男女比率]
 令和5年度

本校は男女共学、全校生徒1,121人の学校です。
 1年生は併設の滝中学校出身者6クラス、
 公立中学校など出身者3クラスの
 計9クラス、2・3年は文系3クラス、理系6クラスの
 計9クラス編成となっています。



安心して通える学校

最寄り駅の名鉄江南駅および名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅とは学園敷地内発着のスクールバスで結び、名古屋市をはじめ、愛知県内、岐阜県内の広い地域からのアクセスも良好です。また、校内敷地内に設置した監視カメラにより24時間体制で安全を見守っています。

地域別入学者数 (令和5年度)

(人)

市 町	入学者数	市 町	入学者数	市 町	入学者数	市 町	入学者数	市 町	入学者数
名古屋市	35	日進市	1	愛西市	1	知多郡	2	各務原市	1
一宮市	14	尾張旭市	1	あま市	1	刈谷市	2	桑名市	2
春日井市	3	清須市	1	海部郡	1	岐阜市	1	津市	1
犬山市	4	北名古屋市	2	半田市	4	大垣市	1	海外	2
江南市	4	長久手市	1	東海市	3	多治見市	1	私立中学校	6
小牧市	3	みよし市	1	大府市	1	土岐市	1		
稲沢市	1	丹羽郡	4	豊明市	1	可児市	2	合計	109

安全対策

BLEND	入学時にBLEND(校務支援システム)の保護者アカウントに登録していただけます。警報発令時に緊急下校をする際にBLENDのメッセージ機能を利用してお知らせします。PC、スマートフォン、タブレットからご利用できます。
スクールバス	登校時と下校時に、江南駅／一宮駅と本校を直通で結ぶスクールバスを運行しています。本校の敷地内から発着するため、バス待ちの時間も多くの目で守られています。
スポーツドクター等	スクールカウンセラーはもとより、スポーツドクターの定期的な検診・相談を受けることができます。
保護者の皆様との連携	すべての保護者の皆様にとって、生徒諸君がどのような学校生活を過ごしているかということは最大の関心事だと思われます。本校では、生徒諸君の学校生活の様子を、いち早く、詳しく、保護者の皆様にご覧いただくために、学年通信をはじめ、進路学習指導部・生活指導部・保健室等からの「通信」を発行し、保護者の皆様との連携に努めています。また、学級別懇談会(個人面談)、学年懇談会、進学説明会など学校と保護者の皆様との情報交換の機会を設けています。

帰国生入試について

本校では、海外での経験を持った優秀な生徒の受け入れをしています。海外での経験が本校での教育活動に生かされ、他の生徒の国際感覚の感化につながることを期待しています。

- 募集人数 若干名
- 出願資格 平成21年4月1日以前に生まれ、勤務等により海外に在住する保護者に同伴し、次の①から③のいずれかに該当する者で、日本の義務教育期間における海外就学期間が1年以上あり本校を第一志望とし、合格した場合は本校への入学を確約できる者。
 - 文部科学大臣の指定を受けた海外の全日制日本人学校の中学部を卒業した者、又は、見込みの者。
 - 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学卒業と同等以上の就学実績があると認められた者。(必ず事前に本校にお問い合わせください。)
 - 帰国後、日本国内の中学校を卒業した者、又は、卒業見込みの者。
- 試験日 1月中旬
- 試験科目等 学力試験 国語(50分)・数学(50分)・英語(50分) 面接

問い合わせ TEL 0587-56-2127 MAIL nyuushi-h@taki-hj.ac.jp 担当/高校教頭

交通のご案内



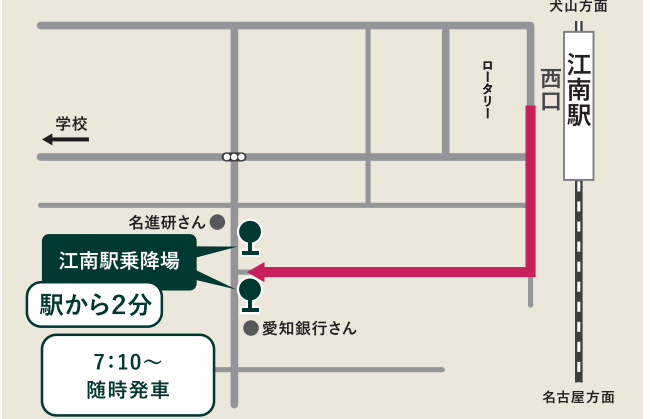
スクールバスについて

- 滝学園では江南駅と学園を結ぶ「江南路線」と、一宮駅と学園を結ぶ「一宮路線」の2系統のスクールバスを運行しています。
- 両駅と学園間を直行で運行します。
- 運行日は授業・土曜講座・行事のある日です。

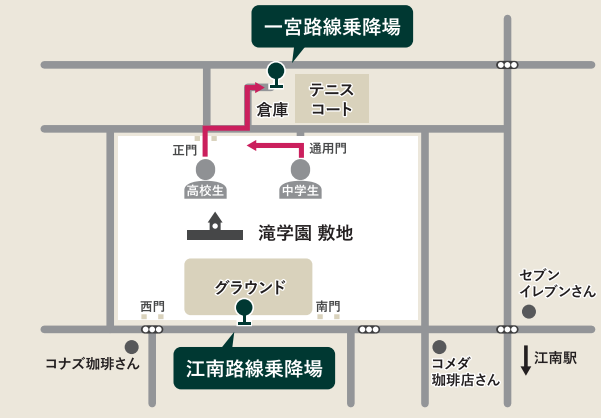
スクールバス 一宮駅乗降場



スクールバス 江南駅乗降場



スクールバス 学園乗降場



滝教育研究所

学ぶ意欲を導きクラブ活動を支える施設

創立90周年を機に、若い教職員で作
り上げた100周年への道標が「滝2026
年への羅針盤」です。

その中で、「学校には文科省からの『縛り』と学園自らの『縛り』の両方があり、それは学校という組織においては必要不可欠であるが、もっと自由に、後期中等教育の教育や研究をパイロット的に実践して、それを滝学園の教育にフィードバックする滝学園の付属研究機関(滝教育研究所)が必要」と謳っています。

この主旨に賛同していただいた学園関係者により「滝教育研究所」が開設されました。この研究所は滝学園の教育をさまざまな視点から評価・点検して

いただき、学園の教育活動の力強い協力機関となると考えています。

滝教育研究所は、学校が終わった後、「もっと教えた先生」と「もっと教えてほしい生徒」が出会い、さらに深い教育・研究をしていくことを目的としています。

自習室、自主ゼミ室を設置し、土曜、日曜、さらに長期の休み中も開放します。このことは多くの生徒達や保護者の皆様が望まれていたことだと考えています。

また、学校休業日のクラブ活動について滝学園から業務委託を受け、学校休業日の活動を可能にしています。具体的な指導・試合参加などについては多くを滝学園のクラブ顧問の先生方をお願いしています。

滝教育研究所

所長
田中 秀幸
(本校OB)

講座部門

自ら学ぶ姿勢を掘り起こして、それを持続できる環境のもとで以下の講義を提供します。

- 滝学園の生徒のみに提供される講義
- 志望大学に見合った「基礎学力定着」のための講義
- アカデミックな授業、ディスカッションが展開される講義
- セミナー室、自習室の提供

例 高校と大学の接続研究機能、成績中位下位対策研究機能、英語教育研究、自習室・自主ゼミ機能、日本文化の「伝達」講座

公開活動部門

滝学園の教育のリソースを生かした、地域への公開講座の実施

例 文化財ツアー、幼稚園・保育園ツアー、円周率クイズ・ピラミッド

クラブ活動部門

学校休業日などのクラブ活動の支援、コーチの採用をサポートします。



株式会社滝教育研究所
〒483-8275
江南市古知野町久保見194
電話 0587-58-6310
FAX 0587-58-6311
URL <https://www.takied.jp/>

研究所からのあいさつ

滝学園では2016年、90周年事業の一環として、「滝2026年への羅針盤」が策定されました。この羅針盤には、今後の滝学園の目指す教育が示されています。この羅針盤に基づき、2016年の9月に株式会社滝教育研究所を設立いたしました。

私立大学では株式会社を持ち、その中で関連事業を行っていくというケースが多くあるようです。しかし、中学校高等学校においては、このようなケースは珍しく、まさに他に先駆けた画期的なことであると思います。

講師の先生方におかれましては、授業、クラブ指導、生活指導、進学指導等々で本当に忙しい毎日であると拝察いたします。そんな忙しい中であって、さらに御負担をおかけしてしまうことは誠に恐縮に存じております。また、その熱意が本当に有り難く、敬意を表します。

講座・クラブ活動について滝学園の先生方のご協力に感謝し、さらなる教育活動の充実を進めていく所存です。「滝2026年への羅針盤」が実現し、滝学園が将来に向けてますます充実、成長、発展されていくことの一翼を担ってまいります。

初代 代表取締役 社長
(元滝高等学校PTA会長)

受講生の感想

1つの問いに多くのアプローチをするため数学を広い視野で見ることが出来るようになったと感じる。

基本に立ち返ることができ、自分がおろそかにしていた部分に分かって非常にためになった。また、基本的な考えから応用的なものまで幅広く教えてもらえるため非常におもしろい。

自分の解答や意見を持って取り組める授業でよかったです。発言の機会も多く受けて楽しかったです。

高度な知識や数学の本質に触れるところまで扱っているので興味深く問題に取り組む姿勢が変わった。

学校では聞けない講義が聞けて、またたくさんの解法が聞けるのでとても勉強になります。いろんな解くための道具が増えて、また発見があるととても感動があるので楽しいです。

とにかく英文を要約する機会を作れるのがとても嬉しい。ターゲット(英単語の参考書)だけでは分からない単語がでてきたりするのでそれも良く思う。あと授業がそこまでつらくなかった。



講座・自習風景

滝学園のICT活用と、その実践事例

2019年の暮れ、文部科学省は「GIGAスクール構想」を発表しました。「ハード・ソフト・人材が一体となった施策を推進して子供たちの教育ICT環境の整備が必要である。」「2024年度までにネットワークの完成、生徒一人一台のPCを完備する。」を目標に掲げました。次世代の学校・教育現場には、

- ◇学びにおける時間と距離の制約を取り払う[遠隔・オンライン教育]
 - ◇個別に最適で効果的な学びや支援のプロジェクト型学習を通じて創造性を育む[教養とSTEAM教育]
 - ◇校務の効率化
 - ◇学びの知見の共有や育成
- などが、ICT環境のもとで保証される必要があります。
(文科省・総務省・経産省等)

滝学園においても、これらの動きに先立ち、まずネットワークの再構築を2019年の夏に行いました。それは、文科省の「GIGAスクール構想の実現標準仕様書」をクリアしたものになっています。全教室に65インチ型モニターを常設し、「みらスク」を利用して電子掲示板、ライブ配信、PCやタブレットのミラーリングをし、生徒への視覚教材ツールとしての活用をしています。

また、生徒・教員とも日常的にiPadを利用し「ロイロノート」「Teams」「OneNote」などのアプリを利用し、生徒と先生の情報共有を行っています。

2021年9月、コロナ禍により感染拡大防止のため、生徒の分散登校を実施しました。学びの機会を継続し、できる限り高品質の学習環境を提供できるように、滝学園が丸となってオンラインハイブリッド授業を実施しました。



写真はMicrosoft Teamsを利用し、クラスの半分は教室で、残りの半分は自宅で授業を受けている様子です。

知的好奇心を育む

ジャパンレヅジSchool

辞書・事典から叢書まで、学習に役立つコンテンツを一括検索・閲覧できるものです。また、新書なども450冊以上が読み放題です。いつでも・どこでも、調べ学習から読書まで幅広く活用できます。

収録コンテンツの一例

- 国語辞典
(日本国語大辞典・全文全訳古語辞典・角川類語辞典等)
- 英語辞典
(プログレッシブ英和中辞典・プログレッシブ和英中辞典)
- 百科事典
(日本大百科全書(ニッポニカ)・世界大百科事典・Encyclopedia of Japan等)
- 新書・叢書
(岩波新書・岩波ジュニア新書・ブルーバックス・新編日本古典文学全集等)



図書館 (電子図書館 LibrariE を含む)

滝学園の図書館が2024年にリニューアルする予定です。リニューアル後の図書館は従来の図書館とは違い、場所にとらわれずに利用できることをコンセプトにしています。

本の検索はWebOPACによりいつでも・どこでも可能!

新聞データベースを用いてiPad上で 新聞の切り抜きが簡単に検索・表示可能! (学内限り)

従来の紙の本はもちろん、電子図書館(ライブラリエ)も導入!

読書、調べ学習、探究活動、小論文やポートフォリオの作成など、主体的な活動のための幅広い情報収集が可能であり、学習活動を総合的にサポートします。

3年後に滝学園は100周年を迎えます!



100周年記念事業 情報センター(仮称)の新築完成予定図

1926年に創立の滝学園は3年後の2026年に100周年を迎えます。100周年記念事業の1つとして、多様な授業スタイルに対応可能なホールを持つ情報センター(仮称)を建築します。また国の登録有形文化財に登録されている「本館」「講堂」「図書館」の耐震改修工事を実施し、これらの施設を公開活用していきます。これに伴い本館にも図書閲覧室等を設け、滝学園の図書機能を図書館のみならず本館にも拡張し、さらに新棟と連結することで学園全体に「学びの輪」を提供します。



新棟内部完成予定図



本館(玄関)

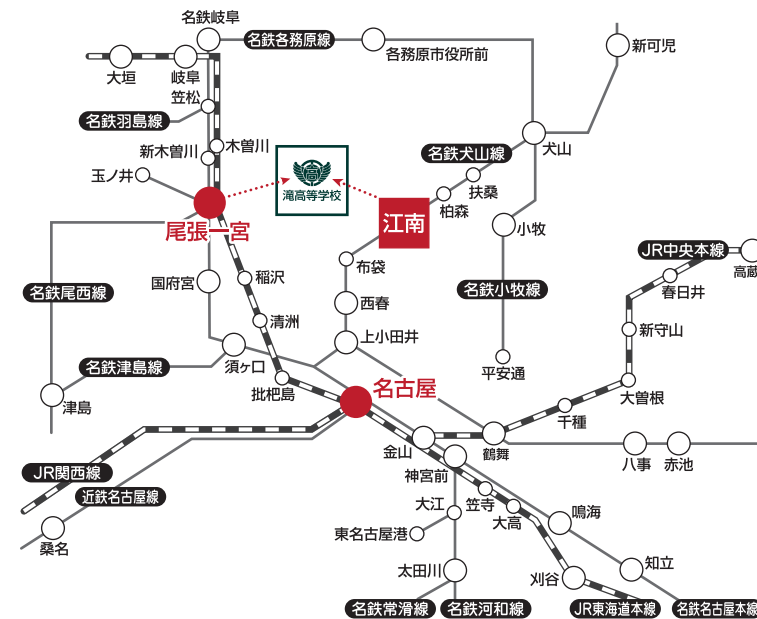


講堂(正面)

交通のご案内

主な駅から名鉄江南駅・名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅までの所要時間

名鉄・近鉄・JR利用の場合



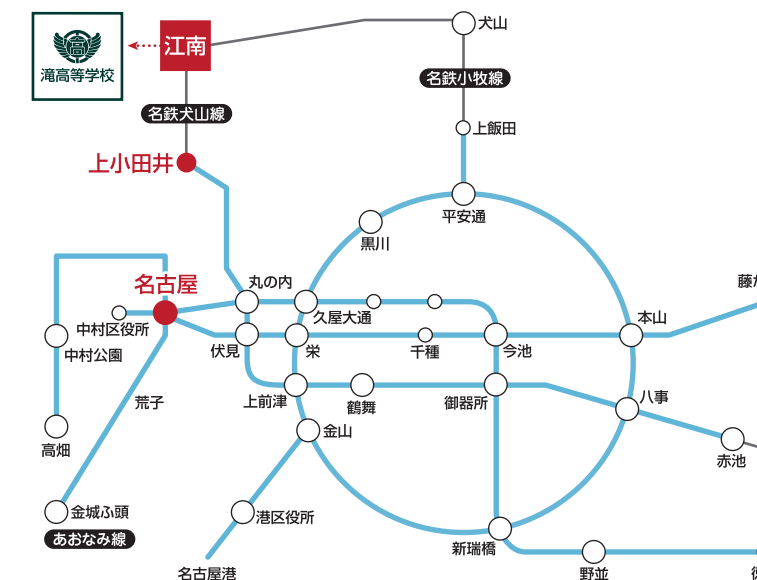
◎江南駅までの所要時間

名鉄名古屋	24分	犬山	10分
金山総合駅	30分	小牧	33分
鳴海	42分	新可児	35分
知立	45分	各務原市役所前	31分
上小田井	14分	桑名	53分

◎名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅までの所要時間

[名鉄利用]	[JR利用]		
国府宮	6分	大垣	23分
津島	36分	岐阜	10分

名古屋市営地下鉄利用の場合



◎江南駅までの所要時間

赤池	52分	黒川	44分
八事	43分	徳重	59分
御器所	38分	新瑞橋	51分
上前津	31分	港区役所	46分
伏見	27分	高畑	44分
藤が丘	54分	中村公園	39分
本山	43分	金城ふ頭	69分
今池	38分		



学校法人 滝学園 **滝高等学校**

URL <https://www.taki-hj.ac.jp>

〒483-8418 愛知県江南市東野町米野1番地

TEL.0587-56-2127 FAX.0587-56-1732



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。